

INDEX

開催にあたって.....	4
合同大会のご案内.....	5
参加者へのご案内.....	6
座長・演者へのご案内.....	8
大会役員.....	9
日程表.....	10
プログラム.....	12
抄録.....	21
大会長講演.....	21
基調講演.....	23
教育講演.....	27
シンポジウム.....	31
ワークショップ.....	45
共催セミナー.....	51
一般演題.....	57
協賛団体・企業一覧.....	109

第11回日本アプライド・セラピューティクス
(実践薬物治療) 学会学術大会
日本社会薬学会第39年会 合同大会
プログラム・講演抄録集

わが国の標準薬物治療を考える！

会 期 2021年9月4日(土)～5日(日)

開催形式 WEB開催

大会長 山藤 満 (SUBARU健康保険組合 太田記念病院 薬剤部)

年会長 赤沢 学 (明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室)

電子薬歴・レセコン一体クラウド型 薬局向け業務支援システム



MAPS for PHARMACY

ソフトウェア

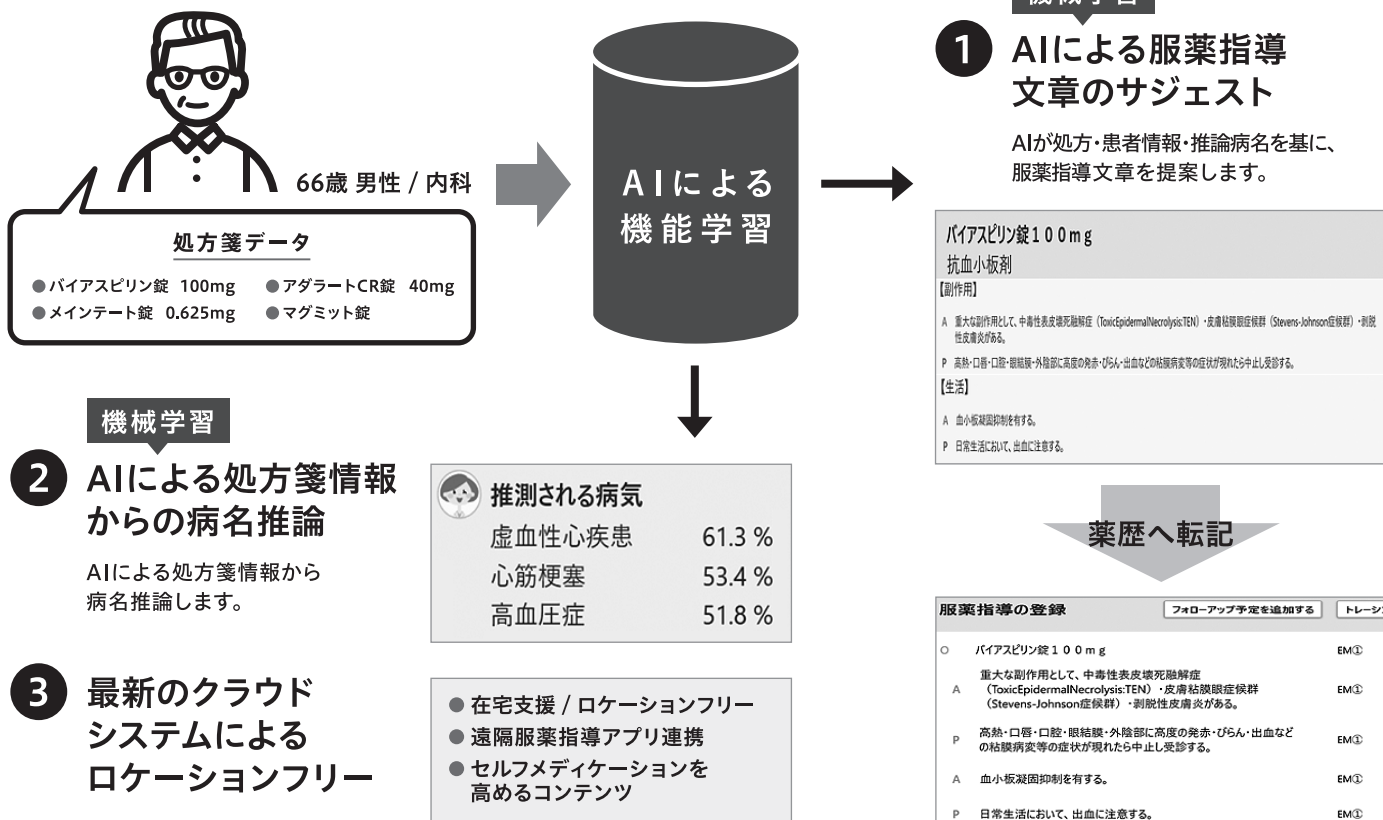
初期ライセンス費用 **0円**
月額費用 20,000円～

ハードウェア

お客様ご自身で調達可能

※ ハードウェアは、当社提供の動作環境に適合している機器となります。
※ 通信環境のための費用は別途必要となります。

- 1 AIによる服薬指導文章のサジェスト
- 2 AIによる処方箋情報からの病名推論
- 3 最新のクラウドシステムによるロケーションフリー



EM 株式会社 EMシステムズ

本社 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 1-6-1 新大阪ブリックビル
TEL.06-6397-1888(代) FAX.06-6397-1890

東京本社 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-10-12 KDX芝大門ビル
TEL.03-3432-5144(代) FAX.03-3432-5145

<https://emsystems.co.jp>

製品サイトは
こちらから



https://emsystems.co.jp/maps_series/for_pharmacy/index.html

HEALTH DESIGN COMPANY

目指すのは、ヘルスデザイン・カンパニー。

医療が治療から予防へ大きく転換している今、

アイセイ薬局は「薬剤師の新たな可能性を探る」という大きなテーマに着手しています。

薬物治療だけでなく、まちの健康ステーションとして、地域住民の健康を守っていく

「ヘルスデザイン・カンパニー」へ生まれ変わっています。

その道程には、自分の成長と企業の成長がつながってゆく醍醐味があり、

新しいカタチをいっしょに創りあげる楽しさがあります。

あなたなら、アイセイといっしょにどんな成長を描きますか？

医薬分業から医薬協業へ。



全国No.1の実績。
地域医療のベストミックス戦略
医療モール開発

医療経営・開業支援のための
ナレッジシェアサイト
「CLINIC Station Portal」

チーム医療に根ざした綿密な医薬連携
「ハンズオン・ミーティング」

ヘルスケアクラウドと薬物治療最適化。



電子おくすり手帳アプリ
「おくすりPASS」



[おくすりPASSのできること]
●服薬アラームで飲み忘れ防止 ●処方せんFAX送信で待ち時間短縮
●おくすり手帳の電子化で服薬管理情報を常に携帯 ●家族(最大8名)の
おくすり管理 ●調剤完了お知らせの受け取り など



AppleとAppleロゴは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。AppStoreはApple Inc.のサービスマークです。

治療から予防へ。

病状改善、健康増進のための
情報提供

「ヘルス・グラフィックマガジン」



健康チェック&相談会

様々な健康チェックを通じ
患者さまの健康をサポート
「健康チェック&相談会」

地域のドクターと病気や健康について
学ぶプログラム
「からだゼミナール」



医師・薬剤師のお仕事体験ワークショップ
「こどもクリニック」「こども薬局」



全国390店舗以上の調剤薬局ネットワークと
業界トップクラスの医療モール開発実績

<https://www.aisei.co.jp/>



アイセイ薬局

開催にあたって

東京オリンピックが開催されたいま、新型コロナウイルスの感染症（COVID-19）患者数が1週間以上連続して全国で1万人を超えるなど急激な感染拡大が続いています。「もはや災害時の状況に近い局面」との見解も出され、その対策に当たられている関係各位には改めて深甚なる敬意を表します。

昨年から延期されておりました第11回日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会学術大会／日本社会薬学会第39年会 合同学会は、新たにWeb配信に変更し開催する運びとなりました。この1年で社会活動の制約も大きく変化しており、職場あるいは家庭から学会に参加できるのもWeb配信の大きな利点と考えます。

本学術集会のテーマも両学会の共通の課題として「わが国の標準薬物治療を考える！」にしました。日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会は2009年の発足以来、薬物療法の適正化を焦点に医師、薬剤師、また、薬物治療の開発から実践に関わる医療スタッフとともに多角的に活動をして参りました。一方、日本社会薬学会は2019年7月に一般社団法人として生まれ変わりました。1982年に研究会として発足以来、医薬品などの生活関連物質と人の健康との社会的な関わりに焦点をあてて研究・教育活動を行っています。

「with コロナ」の新時代においても患者中心の薬物治療を実践していくには「標準化」は重要であると考えます。しかし、薬剤選択を制限する、医療費を抑えるという、本来の「標準薬物治療」の目的から外れた議論になりがちです。そこで本学術集会では、エビデンスに基づく薬物治療を推進する学会と薬物治療と社会との関わりを中心に考える学会が協力して、「わが国の標準薬物治療を考える！」を原点に立ち返った合同学術集会にしたいと考えております。

今回の合同学会の開催に関しては、COVID-19の流行状況を注視しながら、安全で、実り多い機会となるように心がけて参ります。同時に「標準薬物治療」そして新たな学術集会の流れを創ることができますよう精一杯勤めて参ります。

皆様のご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第11回日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会学術大会

大会長 **山藤 満**

(SUBARU 健康保険組合太田記念病院薬剤部)

日本社会薬学会第39年会

年会長 **赤沢 学**

(明治薬科大学薬学部 公衆衛生・疫学研究室)

合同大会のご案内

会期	2021年9月4日(土)・5日(日)
開催形式	WEB開催
テーマ	わが国の標準薬物治療を考える！
主催	日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 一般社団法人日本社会薬学会
大会長 年会長	山藤 満 (SUBARU 健康保険組合 太田記念病院) 赤沢 学 (明治薬科大学 薬学部 公衆衛生・疫学研究室)
後援	厚生労働省 公益社団法人日本薬剤師会 一般社団法人日本病院薬剤師会 一般社団法人群馬県薬剤師会 一般社団法人群馬県病院薬剤師会 一般社団法人栃木県薬剤師会 一般社団法人栃木県病院薬剤師会 一般社団法人茨城県病院薬剤師会 公益社団法人茨城県薬剤師会 一般社団法人長野県薬剤師会 長野県病院薬剤師会 公益社団法人新潟県薬剤師会 新潟県病院薬剤師会 一般社団法人埼玉県薬剤師会 一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 一般社団法人千葉県病院薬剤師会 一般社団法人千葉県薬剤師会 一般社団法人神奈川県病院薬剤師会 公益社団法人東京都薬剤師会 一般社団法人東京都病院薬剤師会
大会事務局	〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 60 高崎健康福祉大学 薬学部 地域医療薬学研究室内 TEL: 027-352-1180 FAX: 027-352-1118 E-mail: edu-jsat11@takasaki-u.ac.jp
運営事務局	〒104-8464 東京都中央区八重洲 2-7-15 株式会社メディセオ 学会支援部 TEL: 03-3517-5519 FAX: 03-3517-5186 E-mail: 041089masaki@mediceo-gp.com
合同大会HP	http://shayaku.umin.jp/11jsat_39jssp/
学会HP	日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 https://www.applied-therapeutics.org/ 一般社団法人日本社会薬学会 http://shayaku.umin.jp/

参加者へのご案内

本学術大会は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、Web形式で開催いたします。

学術大会への参加について

参加登録および参加費のお支払いが完了された方に講演動画等発表データの視聴・閲覧用ID / パスワードをメールにて通知いたします。会期中は大会ホームページの「Web学術大会」にアクセスいただき、視聴・閲覧用ID / パスワードをご入力の上、ご参加ください。

1. 参加証明書・領収書

参加登録完了後（お支払いの確認後）に、ご登録いただいたメールアドレスへお送りしています。

●参加費一覧

		事前参加登録	直前・当日参加登録
■合同大会参加費	◆一般会員	7,000円	9,000円
	◆非会員	9,000円	11,000円
	◆学生	1,000円	1,000円

2. ワークショップ

ワークショップ1の事前参加登録をされた方には教材を事前に発送しております。参加時にはお手元に教材をご用意ください。

ワークショップ2は講演形式となります。大会へ参加登録されている方はどなたでもご視聴いただけます。

3. 一般演題について

一般演題発表はブレイクアウトルームを使用します。

入室後、ご視聴されたい発表者がいるルームに移動し視聴してください。

※発表者のルームはプログラムにてご確認ください。

4. 各賞について

両学会ではそれぞれ以下の賞を選考し閉会式において表彰いたします。

【日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会】

「優秀演題賞」・「優秀演題賞」を1演題選考して表彰します。

【日本社会薬学会】

「SP賞」・「年会の一般演題の中から優秀な演題を選考して表彰します（SP賞については学会ホームページの日本社会薬学会SP賞についてご参照ください）。

「学部学生優秀発表賞」・「第39年会では、「学部学生優秀発表賞」を設けています。選考対象は、筆頭発表者が薬学（6年制・4年制）ないしその他の学部の学生会員である発表を対象とします。大学院生の会員が筆頭者の発表は、SP賞選考の対象とします。

5. 合同大会運営について

(1) 配信方法

講演の様様をライブ配信いたします。再放送は行いませんので、日程表およびプログラムをご確認の上、お見逃しのないようご視聴ください。

(2) e-poster(一般演題発表スライド)

e-poster(一般演題発表スライド)をPDFにてご覧いただけます。サイト内「e-posterはこちら」より会期中はいつでも閲覧いただけます。

(3) 撮影・録音

大会視聴サイト内の撮影・スクリーンショット、録音などは一切ご遠慮ください。

(4) 質疑応答

ライブ配信プログラムにおいて、チャットにより質問を受付けます。お名前、ご所属を記載の上、どの演者に対する質問かを明確にしてご質問ください。なお、全ての質問に対して回答が得られるものではありません。回答の有無は座長・演者にご一任ください。

(5) お問い合わせ先

①参加登録システムに関するお問合せ

登録事務局（株式会社ドーモ）（平日 10:00 ～ 17:00）

T EL：03-5510-7923 / FAX：03-5510-7922

e-mail：shayaku@do-mo.jp

②講演視聴に関するお問い合わせ

株式会社 Doctorbook（平日 10:00 ～ 17:00 および会期中の 9:00 ～ 20:00）

TEL：03-5280-9535

e-mail：info@doctorbook.jp

③その他のお問合せ

運営事務局（株式会社メディセオ）（平日 9:00 ～ 17:00）

〒104-8464 東京都中央区八重洲 2-7-15

TEL：03-3517-5519 FAX：03-3517-5186

e-mail：041089masaki@mediceo-gp.com

座長・演者へのご案内

■座長（基調講演、教育講演、シンポジウム）の皆様へ

- ・講演は Zoom のウェビナーを使用いたします。
- ・ご担当のセッション開始 30 分前までに、指定の URL より Zoom にご参加ください。ご講演に関する説明をさせていただきます。
- ・あらかじめ Zoom のビデオカメラ、マイク、スピーカーのテストをお願いいたします。
- ・定刻になりましたら、座長の進行により講演を開始してください。予定時間に終了いただけますようご配慮ください。
- ・参加者からの質問はチャット機能を使って受け付けます。ご回答につきましては座長・演者の皆様に一任いたします。

■座長（一般演題）の皆様へ

- ・講演は Zoom のブレイクアウトルームを使用いたします。
- ・ご担当のセッション開始 30 分前までに、指定の URL より Zoom にご参加ください。ご講演に関する説明をさせていただきます。
- ・あらかじめ Zoom のビデオカメラ、マイク、スピーカーのテストをお願いいたします。
- ・定刻になりましたら、座長の進行により開始してください。各発表動画は座長より配信をお願いいたします。動画は 6 分、質疑応答は 2 分となります。予定時間に終了いただけますようご配慮ください。
- ・参加者からの質問はチャット機能を使って受け付けます。ご回答につきましては座長・演者の皆様に一任いたします。

■基調講演、教育講演、シンポジウム、共催セミナーでご発表の皆様へ

- ・講演は Zoom のウェビナーを使用いたします。
- ・ご担当のセッション開始 30 分前までに、指定の URL より Zoom にご参加ください。ご講演に関する説明をさせていただきます。
- ・ご講演資料はご自身の PC より画面共有機能により配信いただきます。講演資料はパワーポイントを用いて作成してください。なお、スライドサイズは 16:9 を推奨いたします。
- ・あらかじめ Zoom のビデオカメラ、マイク、スピーカーのテストをお願いいたします。
- ・定刻になりましたら、座長の進行により講演を開始してください。予定時間に終了いただけますようご配慮ください。
- ・参加者からの質問はチャット機能を使って受け付けます。ご回答につきましては座長・演者の皆様に一任いたしますので、必要に応じてご回答ください。

■一般演題でご発表の皆様へ

- ・一般演題発表は Zoom のブレイクアウトルームを使用いたします。
- ・ご担当のセッション開始 30 分前までに、指定の URL より Zoom にご参加ください。ご講演に関する説明をさせていただきます。
- ・発表は、あらかじめご提出いただきました動画ファイルを座長が配信いたしますが、ご自身の PC から共有できるようご準備ください。
- ・あらかじめ Zoom のビデオカメラ、マイク、スピーカーのテストをお願いいたします。
- ・定刻になりましたら、座長の進行により開始してします。持ち時間は動画 6 分、質疑 2 分となります。予定時間に終了いただけますようご配慮ください。
- ・参加者からの質問はチャット機能を使って受け付けます。ご回答につきましては座長・発表者の皆様に一任いたしますので、必要に応じてご回答ください。

大会役員

大会長	山藤 満 (SUBARU 健康保険組合 太田記念病院)
年会長	赤沢 学 (明治薬科大学)
プログラム委員長	土井 信幸 (高崎健康福祉大学)
プログラム委員	高野 尊行 (那須赤十字病院) 藤田 朋恵 (獨協医科大学) 篠原久仁子 (フローラ薬局河和田店) 今井志乃ぶ (東京薬科大学) 近藤 悠希 (熊本大学) 岸本 桂子 (昭和大学) 亀井美和子 (帝京平成大学) 倉田なおみ (昭和大学)
組織委員	緒方 宏泰 (明治薬科大学) 網岡 克雄 (金城学院大学) 越前 宏俊 (明治薬科大学) 木内 祐二 (昭和大学) 志賀 剛 (東京慈恵会医科大学) 清水 秀行 (帝京平成大学) 高見澤 格 (日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院) 松本 直樹 (聖マリアンナ医科大学) 住吉 徹哉 (日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院) 山村 真一 (プライマリーファーマシー)

日程表 9月4日(土)

9月4日(土)			
	第1会場	第2会場	第3会場
9:00			
9:15-9:20	開会宣言		
9:20-9:40	大会長講演 座長: 赤沢学(明治薬科大学) 演者: 山藤満(太田記念病院)		
10:00	10:00-11:00 基調講演 「標準薬物治療を考える！」 オーガナイザー: 松本直樹(聖マリアンナ医科大学)、 志賀剛(東京慈恵会医科大学)、 亀井美和子(帝京平成大学) 座長: 志賀剛(東京慈恵会医科大学)、 亀井美和子(帝京平成大学) 演者: 松本直樹(聖マリアンナ医科大学)、 赤沢学(明治薬科大学)		
10:30			
11:00			
11:20-13:20	シンポジウム1 「標準薬物治療を考える！」 オーガナイザー 松本直樹(聖マリアンナ医科大学) 志賀剛(東京慈恵会医科大学) 亀井美和子(帝京平成大学) 座長 志賀剛(東京慈恵会医科大学) 亀井美和子(帝京平成大学) 演者 佐々江龍一郎(NTT東日本関東病院) 蓮沼智子(北里大学北里研究所病院) 前田幹広(聖マリアンナ医科大学病院) 小黑佳代子(プラス薬局高崎吉井店)		
12:00			
12:30			
13:00			
13:30		13:40-15:10 一般演題発表 ルーム1 座長 近藤悠希(熊本大学)、岸本桂子(昭和大学) ルーム2 座長 土井信幸(高崎健康福祉大学) 本石寛行(草加市立病院)	
14:00			14:20-15:10 共催セミナー5 「血友病について」 座長: 山藤満(太田記念病院) 演者: 堀尚明(太田記念病院) 共催: 中外製薬株式会社
14:30			
15:00			
15:30	15:30-16:30 教育講演1 「医療現場の行動経済学」 オーガナイザー: 岸本桂子(昭和大学) 座長: 赤沢学(明治薬科大学) 演者: 平井啓(大阪大学大学院)		
16:00			
16:30			
17:00	16:50-17:50 教育講演2 「メタ解析入門」 オーガナイザー: 緒方宏泰(明治薬科大学) 座長: 緒方宏泰(明治薬科大学) 演者: 野間久史(統計数理研究所 データ科学研究系)		
17:30			
18:00			18:00-19:40 ワークショップ1 「ソーシャルコミュニティファーマシーのこれから ～健康を繋ぐための漢方・ハーブ・アロマの活用～」 オーガナイザー: 久保田洋子(日本薬科大学) 座長: 久保田洋子(日本薬科大学) 演者 糸数七重(日本薬科大学) 久保田洋子(日本薬科大学) 小早川愛(日本薬科大学)
18:10-19:00	共催セミナー1 「フォーミュラリーとHTA」 座長: 岸本桂子(昭和大学) 演者: 五十嵐中(横浜市立大学) 共催: 塩野義製薬株式会社		
18:30			
19:00			
19:20-20:10	共催セミナー2 「もうビビらない!? 中信がん薬業連携のキセキ ～口腔ケア指導ツールなども交えて～」 座長: 新井隆広(群馬県立がんセンター) 演者: 三浦篤史(佐久医療センター) 共催: 株式会社大塚製薬工場		
19:30			
20:00			
20:30			

日程表 9月5日(日)

9月5日(日)		第1会場	第2会場
9:00	9:00-10:00	<p>教育講演3 「標準薬物治療を実践するための医-薬連携の事例報告」</p> <p>オーガナイザー: 高野尊行(那須赤十字病院)、藤田朋恵(獨協医科大学) 座長: 藤田朋恵(獨協医科大学) 演者: 角南由紀子(立川相互病院)</p>	
9:30			
10:00			
10:30	10:20-12:20	<p>シンポジウム2 「標準薬物治療への取り組みと今後の課題」</p> <p>オーガナイザー: 藤田朋恵(獨協医科大学)、高野尊行(那須赤十字病院) 座長: 越前宏俊(明治薬科大学)、高野尊行(那須赤十字病院)</p> <p>演者 安武夫(明治薬科大学) 田原裕尚(立川相互病院) 篠原久仁子(フローラ薬局) 高見澤格(榊原記念病院)</p>	
11:00			
11:30			
12:00			
12:30			
13:00			12:40-14:40
13:30			<p>一般演題発表</p> <p>ルーム1 座長: 近藤悠希(熊本大学)・恩田光子(大阪医科薬科大学)</p> <p>ルーム2 座長: 岸本桂子(昭和大学)・櫻井秀彦(北海道科学大学)</p> <p>ルーム3 座長 土井信幸(高崎健康福祉大学) 板倉尚広(日本大学医学部附属板橋病院)</p>
14:00			
14:30			
15:00	15:00-17:00	<p>シンポジウム3 「薬局薬剤師視点で実施するデータベース研究」</p> <p>オーガナイザー: 今井志乃ぶ(東京薬科大学)、近藤悠希(熊本大学) 座長: 岸本桂子(昭和大学)、佐藤嗣道(東京理科大学)</p> <p>演者 今井志乃ぶ(東京薬科大学) 山本正道(日本医薬総合研究所) 守田彩文(陣内病院) 近藤悠希(熊本大学)</p>	
15:30			
16:00			
16:30			
17:00			
17:30	17:20-18:10	<p>共催セミナー3 「開かれたフォーミュラリー」の実現を目指して ～PPI/P-CAB群の作成と運用～」 座長: 佐々木忠徳(昭和大学病院) 演者: 市橋孟(NTT東日本関東病院) 共催: 武田薬品工業株式会社</p>	17:20-19:20
18:00			<p>ワークショップ2 「介護職と薬剤師のコミュニケーションについて」</p> <p>オーガナイザー: 山崎茂之(くすりの適正使用協議会)</p> <p>演者 玉井典子(友愛メディカル) 大道寺香澄(くすりの適正使用協議会) 山岸大輔(生活介護サービス株式会社)</p>
18:30	18:30-19:20	<p>共催セミナー4 「大学病院におけるバイオシミラー導入の実際 ～群馬大学医学部附属病院におけるBSの導入事例～」 座長: 山藤満(太田記念病院) 演者: 荒木拓也(群馬大学大学院) 共催: 日本化薬株式会社</p>	
19:00			
19:30	19:30-19:50	<p>閉会式</p>	
20:00			
20:30			

第11回日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会学術大会 日本社会薬学会第39年会 合同大会 プログラム

大会長講演

9月4日(土)9:20~9:40 第1会場

「わが国の標準薬物治療を考える！」~合同大会を開催するにあたり~

座長:赤沢 学(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室)

演者:山藤 満(SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部)

基調講演

9月4日(土)10:00~11:00 第1会場

標準薬物治療を考える!

オーガナイザー:松本 直樹(聖マリアンナ医科大学 薬理学)

志賀 剛(東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座)

亀井 美和子(帝京平成大学)

座長:志賀 剛(東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座)

亀井 美和子(帝京平成大学)

KL-1 標準薬物療法の理想と現実

○松本 直樹(聖マリアンナ医科大学 薬理学)

KL-2 標準薬物治療と医療経済評価

○赤沢 学(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室)

教育講演

9月4日(土)15:30~16:30 第1会場

教育講演1「医療現場の行動経済学」

オーガナイザー:岸本 桂子(昭和大学 薬学部 社会薬学部門)

座長:赤沢 学(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室)

EL1 医療現場の行動経済学

○平井 啓(大阪大学大学院 人間科学研究科 平井啓研究室)

9月4日(土)16:50~17:50 第1会場

教育講演2「メタ解析入門」

オーガナイザー:緒方 宏泰(明治薬科大学)

座長:緒方 宏泰(明治薬科大学)

EL2 ネットワークメタアナリシス:Comparative Effectiveness
Research のためのエビデンス統合の方法

○野間 久史(大学共同利用機関法人 情報・システム
研究機構 統計数理研究所 データ科学研究系)

9月5日(日)9:00~10:00 第1会場

教育講演 3「標準薬物治療を実践するための医-薬連携の事例報告」

オーガナイザー:高野 尊行(那須赤十字病院 薬剤部・感染管理室)

藤田 朋恵(獨協医科大学 薬理学講座)

座長:藤田 朋恵(獨協医科大学 薬理学講座)

- EL3 標準薬物治療を実践するための医-薬連携の事例報告・コロナ以後の変化も含めて ○角南 由紀子(社会医療法人社団 健生会 立川相互病院 糖尿病・代謝内科)

シンポジウム

9月4日(土)11:20~13:20 第1会場

シンポジウム 1「標準薬物治療を考える！」

オーガナイザー:松本 直樹(聖マリアンナ医科大学 薬理学)

志賀 剛(東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座)

亀井 美和子(帝京平成大学)

座長:志賀 剛(東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座)

亀井 美和子(帝京平成大学)

- SY1-1 英国の地域フォーミュラ ○佐々江 龍一郎(NTT 東日本関東病院 国際診療科、東京保健医療大学)
- SY1-2 リウマチ専門医の立場から ○蓮沼 智子(北里大学北里研究所病院 研究部)
- SY1-3 院内フォーミュラリーから考える標準治療 ○前田 幹広(聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)
- SY1-4 薬局薬剤師にとっての標準薬物治療 ○小黒 佳代子(株式会社ファーマ・プラス プラス薬局 高崎吉井店)

9月5日(日)10:20~12:20 第1会場

シンポジウム 2「標準薬物治療への取り組みと今後の課題」

オーガナイザー:藤田 朋恵(獨協医科大学 薬理学講座)

高野 尊行(那須赤十字病院 薬剤部・感染管理室)

座長:越前 宏俊(明治薬科大学)

高野 尊行(那須赤十字病院 薬剤部・感染管理室)

- SY2-1 標準薬物治療の教育と課題 ○安 武夫(明治薬科大学 薬学教育研究センター 臨床薬学部門治療評価学)
- SY2-2 医-薬連携で行っていること-その経験と展望- ○田原 裕尚(社会医療法人社団健生会 立川相互病院 薬剤部)
- SY2-3 保険薬局における標準薬物治療の推進 ○篠原 久仁子(株式会社フローラ薬局、薬局恵比寿ファーマシー)
- SY2-4 循環器専門医師による虚血性心疾患二次予防の標準薬物治療 ○高見澤 格(公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 循環器内科)

9月5日(日)15:00~17:00 第1会場

シンポジウム 3「薬局薬剤師視点で実施するデータベース研究」

オーガナイザー:今井 志乃ぶ(東京薬科大学 薬学部 医薬品安全管理学教室)
近藤 悠希(熊本大学大学院 生命科学研究部・薬学部 臨床薬理学分野)

座長:岸本 桂子(昭和大学 薬学部 社会薬学部門)
佐藤 嗣道(東京理科大学 薬学部 医薬品情報学研究室)

- | | | |
|-------|---|-------------------------------------|
| SY3-1 | 薬局薬剤師視点で利活用する診療データベース | ○今井 志乃ぶ(東京薬科大学 薬学部 医薬品安全管理学教室) |
| SY3-2 | 新型コロナウイルス感染症拡大下における処方傾向分析 | ○山本 正道(株式会社日本医薬総合研究所 営業企画部) |
| SY3-3 | 薬剤イベントモニタリング(DEM)事業データ分析:副作用発現における性差 | ○守田 彩文(医療法人社団陣内会 陣内病院 薬剤部) |
| SY3-4 | データベース研究から見る薬局薬剤師が注意すべき薬物間相互作用と薬剤有害事象の季節性 | ○近藤 悠希(熊本大学大学院 生命科学研究部・薬学部 臨床薬理学分野) |

ワークショップ

9月4日(土)18:00~19:40 第3会場

ワークショップ 1「ソーシャルコミュニティファーマシーのこれから

～健康を繋ぐための漢方・ハーブ・アロマの活用～

オーガナイザー:久保田 洋子(日本薬科大学)
座長:久保田 洋子(日本薬科大学)

- | | | |
|-------|------------------------------|-----------------|
| WS1-1 | 漢方関連知識の活用と実践
～地域貢献型薬局の構築～ | ○糸数 七重(日本薬科大学) |
| WS1-2 | 香(臭気)の利活用 | ○久保田 洋子(日本薬科大学) |
| WS1-3 | ハーブの知識とその実践的な応用 | ○小早川 愛(日本薬科大学) |

9月5日(日)17:20~19:20 第2会場

ワークショップ 2「介護職と薬剤師のコミュニケーションについて」

オーガナイザー:山崎 茂之(一般社団法人 くすりの適正使用協議会)

- | | | |
|-------|-------------------|-----------------------------|
| WS2-1 | 介護職と薬剤師のコミュニケーション | ○玉井 典子(株式会社友愛メディカル) |
| WS2-2 | 漫画「介護現場あるある事例」の紹介 | ○大道寺 香澄(一般社団法人 くすりの適正使用協議会) |
| WS2-3 | 漫画「介護現場あるある事例」の紹介 | ○山岸 大輔(生活介護サービス株式会社) |

共催セミナー

9月4日(土)18:10～19:00 第1会場

共催セミナー1(塩野義製薬株式会社)

「フォーミュラーとHTA」

座長:岸本 桂子(昭和大学 薬学部 社会薬学部門)

演者:五十嵐 中(横浜市立大学 医学群 健康社会医学ユニット)

9月4日(土)19:20～20:10 第1会場

共催セミナー2(株式会社大塚製薬工場)

「もうビビらない!? 中信がん薬薬連携のキセキ

～口腔ケア指導ツールなども交えて～」

座長:新井 隆広(群馬県立がんセンター)

演者:三浦 篤史(佐久総合病院 佐久医療センター 薬剤部)

9月5日(日)17:20～18:10 第1会場

共催セミナー3(武田薬品工業株式会社)

「開かれたフォーミュラー」の実現を目指して～PPI/P-CAB 群の作成と運用～」

座長:佐々木 忠徳(昭和大学病院 薬剤部)

演者:市橋 孟 (NTT東日本関東病院 薬剤部)

9月5日(日)18:30～19:20 第1会場

共催セミナー4(日本化薬株式会社)

「大学病院におけるバイオシミラー導入の実際

～群馬大学医学部附属病院におけるBSの導入事例～」

座長:山藤 満 (SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部)

演者:荒木 拓也(群馬大学大学院 医学系研究科 臨床薬理学講座、群馬大学医学部附属病院 薬剤部)

9月4日(土)14:20～15:10 第3会場

共催セミナー5(中外製薬株式会社)

「血友病について」

座長:山藤 満 (SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部)

演者:堀 尚明 (SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 小児科)

一般演題

9月4日(土)13:40~15:10 第2会場

一般演題1 <ルーム1>

座長:近藤 悠希(熊本大学大学院 生命科学研究部・薬学部 臨床薬理学分野)
岸本 桂子(昭和大学 薬学部 社会薬学部門)

- | | | |
|-------|--|---|
| SP-01 | 薬局薬剤師および栄養士の協働による2型糖尿病患者支援に対する意識に関する質問票の開発及び妥当性・信頼性の検証 | ○庄司 雅紀(大阪医科薬科大学薬学部社会薬学・薬局管理学研究室), 坂根 直樹(京都医療センター予防医学研究室), 伊藤 直紀, 砂山 慶次(e 薬局グループ・有限会社イトーヤク), 恩田 光子(大阪医科薬科大学薬学部社会薬学・薬局管理学研究室) |
| SP-02 | 握力測定による潜在的なロコモティブシンドローム予備群のスクリーニングにおける“ロコチェック”併用の有用性 | ○徳毛 孝至(公立学校共済組合中国中央病院), 梶原 敏道, 古賀 三由紀(株式会社プレヒまわり), 石橋 勇(福山平成大学福祉健康学部), 上敷 領 淳, 田中 哲郎, 猿橋 裕子, 小嶋 英二郎(福山大学薬学部), 岡本 伸也(尾道市立市民病院), 杉原 成美(福山大学薬学部) |
| SP-03 | 薬局薬剤師が多剤併用高齢患者に提供するケアの質の現状把握とケア改善に向けた課題の抽出 | ○佐藤 周子(シドニー大学 薬学部), 串田 一樹(昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座), 藤田 健二(シドニー大学 医学部), 岡田 浩(京都大学 社会健康医学系健康情報学), Timothy Chen(シドニー大学 薬学部) |
| SP-04 | PBPM による残薬報告を活用した年代別での残薬発生と要因の調査 | ○平井 利幸, 寺門 祐介, 関 利一(株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院) |
| SP-05 | 子供に抗菌薬が処方されなかったことへ納得できない母親の思いに影響する要因の検討 | ○川村 ひとみ(昭和大学大学院薬学研究科社会健康薬学講座社会薬学部門, 独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院薬剤部), 岸本 桂子(昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門) |
| SP-06 | スイッチ OTC 医薬品として販売されている経皮吸収型鎮痛消炎貼付剤の不適切な使用に影響する因子の解析 | ○赤川(佐々木) 圭子, 狩野 小町, 熊木 良太, 岸本 桂子(昭和大学薬学部 社会薬学部門) |
| SP-07 | 慢性疾患患者の服薬コンプライアンスに関連する要因: 中年期と高齢期の比較 | ○押切 康子(御代の台薬局品川二葉店), 杉澤 秀博(桜美林大学大学院国際学術研究科) |
| SP-08 | 薬剤師は保育士の保育所内与薬の負担軽減を支援できるのか -薬剤師による保育士の支援可能性の検討- | ○柳 奈津代(東京大学大学院薬学系研究科), 佐藤 宏樹(東京大学大学院薬学系研究科, 東京大学大学院情報学環), 澤田 康文(東京大学大学院薬学系研究科) |

9月4日(土)13:40~15:10 第2会場

一般演題1 <ルーム2>

座長:土井 信幸(高崎健康福祉大学 薬学部 薬学科 地域医療薬学研究室)
本石 寛行(草加市立病院 薬剤部)

- | | | |
|-------|---|--|
| AP-01 | 高度催吐性化学療法による化学療法誘発性悪心・嘔吐に対する標準3剤併用療法とオランザピン追加の有効性と安全性:メタ解析 | ○諸橋 星名(武蔵野大学薬学部 臨床薬学センター) |
| AP-02 | 酸化マグネシウムによる高マグネシウム血症発症後の重篤化要因の解析 | ○大塚 穂乃香, 小見 暁子(高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室), 秋山 滋男(東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター), 土井 信幸(高崎健康福祉大学 薬学部 地域医療薬学研究室) |
| AP-03 | 小児・新生児におけるamikacinの母集団薬物動態解析:実臨床データを用いたモデルの評価および個別化投与に関する検討 | ○小原 真穂(武蔵野大学 薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室), 岡田 章(武蔵野大学 薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室, 武蔵野大学 薬学研究所), 齊藤 順平, 丹沢 彩乃(国立成育医療研究センター 薬剤部), 世良 庄司(武蔵野大学 薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室, 武蔵野大学 薬学研究所), 山谷 明正(国立成育医療研究センター 薬剤部), 永井 尚美(武蔵野大学 薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室, 武蔵野大学 薬学研究所) |
| AP-04 | ラモトリギンの皮膚障害発現リスクに及ぼす併用薬の影響 | ○三宅 萌瑛, 角山 香織, 中村 敏明(大阪医科薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター) |
| AP-05 | グラム染色による抗菌薬適正使用のための抗菌薬早見表の作成 | ○三田 京佳, 小見 暁子, 土井 信幸(高崎健康福祉大学薬学部地域医療薬学研究室), 山藤 満(SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部) |
| AP-06 | 副鼻腔炎患者のクラリスロマイシンの治療に対する副作用解析 | ○大平 奈美, 小見 暁子, 土井 信幸(高崎健康福祉大学薬学部地域医療薬学研究室), 山藤 満(SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部) |
| AP-07 | 標準薬物治療に基づいた薬学的患者ケア実践のための介入 | ○倉井 岳史, 倉井 由香, 高野 尊行, 中丸 朗(那須赤十字病院 薬剤部) |
| AP-08 | EBM 学習を实践する薬樹ジャーナルクラブへの参加者の意識調査と運用評価 | ○今井 真穂, 小納谷 洋平, 山菅 友理子, 池上陽平, 鈴木 透, 永見 美奈, 石井 亮介, 小峯 良美, 大崎 英幸(薬樹(株)) |

9月5日(日)12:40~14:40 第2会場

一般演題2 <ルーム1>

座長:近藤 悠希(熊本大学大学院 生命科学研究部・薬学部 臨床薬理学分野)
恩田 光子(大阪医科薬科大学 薬学部 社会薬学・薬局管理学的研究室)

- | | | |
|--------|--|---|
| SP-09s | GIS を活用した北海道における地域薬局分布に関する研究 | ○石坂 碧衣, 浅川 紗良, 櫻井 秀彦(北海道科学大学 薬学部), 岸本 桂子(昭和大学 薬学部), 古田 精一(北海道科学大学 薬学部) |
| SP-10s | 保険薬局における薬剤師の聴覚障害者への関わり方の現状についての調査研究 | ○越智 一葉, 村岡 千種(北海道科学大学薬学部薬学教育学分野), 野呂瀬 崇彦(帝京大学薬学部薬学教育推進センター) |
| SP-11s | 薬剤師による処方提案の効率化支援のための検討 | ○木村 彩恵(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室), 大木 稔也(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室,IMS(イムス)グループ イムス三芳総合病院薬剤部), 酒井 良子, 赤沢 学(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室) |
| SP-12s | 実臨床データを用いた遠隔転移がんに対するゲムシタビン+アブラキサン併用療法及び modified-FOLFIRINOX 療法の費用対効果分析 | ○高橋 優美(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室), 森下 滉己, 田内 淳子, 篠原 旭, 川崎 敏克(国立がん研究センター東病院 薬剤部), 宅本悠希, 浅見 新, 田中 丈介, 赤沢 学(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室) |
| SP-13s | 在宅医療に着目した各都道府県の薬局機能情報提供サイトのユーザビリティ評価 | ○長塚 芽久美, 熊木 良太, 赤川 圭子, 岸本 桂子(昭和大学薬学部 社会薬学部門) |
| SP-14s | ネット販売における指定第2類医薬品の注意喚起に関する調査 | ○浅岡 宝花, 熊木 良太, 赤川(佐々木) 圭子, 岸本 桂子(昭和大学薬学部 社会薬学部門) |
| SP-15s | 低用量経口避妊薬の副作用報告に関する実態調査 | ○清藤 萌香, 赤沢 学(明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室) |
| SP-16s | 薬局薬剤師による地域住民の口腔の健康維持・増進の取り組みに関する現状及び推進に向けた課題の検討 | ○吉田 倫太郎(慶應義塾大学薬学部社会薬学部門), 岩田 紘樹, 小林 典子(慶應義塾大学薬学部社会薬学部門,慶應義塾大学薬学部附属薬局), 藤本 和子(慶應義塾大学薬学部社会薬学部門), 林 直子, 山浦 克典(慶應義塾大学薬学部社会薬学部門,慶應義塾大学薬学部附属薬局) |
| SP-17s | 薬局薬剤師によるスポーツサプリメントにおけるアンチ・ドーピング活動推進の課題と対策 | ○大場 法隆, 藤本 和子, 小林 典子, 岩田 紘樹, 山浦 克典(慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門) |
| SP-18s | 在宅業務推進に向けた薬局内連携に関する職種別意識調査 | ○加藤 彩弥子, 加地 弘明, 河野 奨(就実大学薬学部 薬物療法設計学研究室) |
| SP-19s | 薬局薬剤師による予防接種実施に関する意識調査 | ○川崎 慎一郎(大阪医科薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター), 東 克洋, 永松 新吾(クラフト株式会社 薬局事業部), 角山 香織, 中村 敏明(大阪医科薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター) |
| SP-20s | 急性期病院薬剤師における入院患者へのこころのケアの実態と課題~薬剤師人員配置基準からの検討~ | ○江藤 大貴, 櫻井 浩子(東京薬科大学 生命・医療倫理学研究室) |

9月5日(日) 12:40~14:40 第2会場

一般演題2 <ルーム2>

座長:岸本 桂子(昭和大学 薬学部 社会薬学部門)

櫻井 秀彦(北海道科学大学 薬学部 薬学科 社会薬学部門 薬事管理学分野)

- | | | |
|--------|---|---|
| SP-21s | 大都市近郊薬局におけるベンゾジアゼピン系薬剤の高齢者への処方実態調査 | ○平井 華, 日野 裕太(立命館大学 薬学部), 横井 正之(立命館大学 薬学部, パスカル薬局), 横井 裕子(パスカル薬局), 坂口 裕子, 一川 暢宏(立命館大学 薬学部) |
| SP-22s | 特別養護老人ホームにおける介護職員の薬への関わりの現状に関する研究 | ○星野 南, 菊地 真実(帝京平成大学薬学部) |
| SP-23 | 薬局における患者の薬剤師への情報提供の促進要因及び患者の情報提供積極性の評価方法の検討 | ○岸本 桂子, 熊木 良太(昭和大学薬学部), 清塚 千夏(昭和大学薬学部, クラフト本社), 櫻井 秀彦(北海道科学大学薬学部) |
| SP-24 | 緊急避妊薬の適正使用における世界標準治療と我が国における現状と課題 | ○大塚 邦子(横浜薬科大学, 昭和大学医学部, 神奈川県女性薬剤師会), 篠塚 達雄, 越智 定幸(横浜薬科大学), 大塚 誠(静岡大学電子工学研究所), 安原 一(昭和大医学医療振興財団), 内田 直樹(昭和大学医学部) |
| SP-25 | 神奈川県薬局機能情報を用いた地域連携と在宅医療に関する研究 | ○田口 真穂(横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室, 東京薬科大学 社会薬学研究室), 畚野 海, 阿部 竜大, 高橋 健太, 日原 慧(横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室), 益山 光一(東京薬科大学 薬事関係法規研究室), 北垣 邦彦(東京薬科大学 社会薬学研究室), 山田 博章(横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室) |
| SP-26 | 地域に貢献する薬剤師を養成するための取り組みー薬学生による薬育教育の実践ー | ○原田 美那, 小原 道子, 福島 紀子, 菊地 真実(帝京平成大学薬学部) |
| SP-27 | 小規模薬局が在宅医療に関わる上での薬剤師ネットワークシステムの役割ー長崎市におけるインタビュー調査からー | ○菊地 真実(帝京平成大学薬学部) |
| SP-28 | HPV ワクチン「積極的な接種推奨を差し控える」に関しての市民への情報提供状況-各政令指定都市のホームページ調査から- | ○長南 謙一, 飯島 志織, 松尾 のぞみ, 松田 一将, 大和 幹枝, 土肥 弘久(昭和薬科大学) |
| SP-29 | ヘルスリテラシー概念に着目した服薬アドヒアランスに対する影響要因の再検討 | ○櫻井 秀彦(北海道科学大学), 森藤 ちひろ(流通科学大学), 岸本 桂子(昭和大学) |
| SP-30 | 在宅医療における介護支援専門員との連携における薬剤師の課題 | ○村上 慎(福山大学薬学部 衛生薬学研究室, 尾道薬剤師会), 蔵田 龍一, 境 紘樹(福山大学薬学部 衛生薬学研究室), 友滝 恵子, 中山 奈千子, 安保 圭介, 横田 いつ子(尾道薬剤師会), 小森山 雅士(因島薬剤師会), 竹田 修三, 杉原 成美(福山大学薬学部 衛生薬学研究室) |
| SP-31 | 薬剤師における妊娠検査薬の販売・相談と児童虐待防止に対する意識との関連 | ○西地 令子, 園田 和子, 平田 伸子, 西田 和子, 川口 弥恵子, 小川 有希子, 吉武 毅人(第一薬科大学 看護学部) |
| SP-32 | 外来がん治療における薬薬連携に関する実態調査 | ○香月 正明, 桑野 聖子, 有馬 英俊, 入倉 充(第一薬科大学 臨床薬学分野) |

9月5日(日) 12:40~14:40 第2会場
一般演題2 <ルーム3>

座長:土井 信幸(高崎健康福祉大学 薬学部 薬学科 地域医療薬学研究室)
栃倉 尚広(日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部)

- | | | |
|-------|---|--|
| AP-09 | 科学的・合理的に薬物治療を実践するためのワークショップ『症例解析&文献評価ワークショップ』-オンライン開催の課題- | ○西村 由弥子(熊本大学教授システム学研究支援センター/東日本メディコム株),アブライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 リモート・ワーキンググループ), 佐村 優(医療法人社団 緑成会 横浜総合病院 薬剤部), 神山 紀子, 堀内 望, 館知也, 松本 乃理子(アブライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 リモート・ワーキンググループ), 三原 潔(武蔵野大学 薬学部 薬学科), 藤田 朋恵(獨協医科大学 薬理学講座) |
| AP-10 | 症例報告会を通じた薬剤師の臨床能力向上の試みと参加者アンケートから考察した現状の問題点 | ○越前 宏俊,藤田 朋恵,花井 雄貴(アブライド・セラピューティクス誌編集委員会), 西村 由弥子, 館 知也,神山 紀子,堀内 望,松本 乃里子(日本アブライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会リモート企画・運営ワーキンググループ) |
| AP-11 | 臨床現場における錠剤分割の問題 | ○石村 淳, 佐古 兼一(日本薬科大学 臨床薬学分野), 瀧沢 裕輔(日本薬科大学 臨床薬剤学分野) |
| AP-12 | covid-19 の流行により通常の病院実務実習が困難な状況下での代替実習の試み | ○高橋 謙吾, 別所 千枝, 安原 昌子(JA 尾道総合病院薬剤部), 広瀬 雅一, 佐藤 英治, 長崎 信浩(福山大学薬学部), 堀川 俊二(JA 尾道総合病院薬剤部) |
| SP-33 | スマートフォンに対応した NNT(治療必要数)のベイズ推測視覚化アプリ開発の試み | ○井上 弘樹(新潟医療福祉大学 医療情報管理学科), 内山 八郎(徳島大学 教養教育院) |
| SP-34 | 保険薬局来局患者における抗菌薬適正使用の認識調査 | ○松井 洸, 阿部 真也, 山口 浩, 吉町 昌子, 野村 和彦(株式会社ツルハホールディングス) |
| SP-35 | 薬害の歴史から学ぶ副作用・有害事象への対応について | ○榎 宏朗, 片平 湧彦(一般社団法人メディックス臨床社会薬学研究所) |
| SP-36 | ディオバン判例に見る論文の広告該当性と学会・学術誌の役割について | ○齋藤 充生(ヘルスヴィジランス研究会, 日本医薬情報センター), 林 譲(ヘルスヴィジランス研究会) |
| SP-37 | 日医工と小林化工における薬機法違反問題の背景に関する一考察 | ○廣田 憲威(一般社団法人 大阪ファルマプラン社会薬学研究所) |
| SP-38 | 薬局・薬剤師の IT 化の状況と関心度に関する調査 | ○富澤 崇(株式会社ツールボックス,城西国際大学薬学部), 土井 信幸, 小見 暁子(高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室) |
| SP-39 | 本邦での医療用医薬品添付文書の妊婦への投与に関する記載の現状 | ○八鍬 奈穂(昭和薬科大学大学院薬学研究科 医薬情報解析・医薬品評価学,国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター), 宇野 菜々恵, 長谷川 英里, 平澤 孔生, 小林 優希, 藤沢 知聡, 浪岡 貴宏(昭和薬科大学 社会薬学研究室), 庄野 あい子(昭和薬科大学大学院薬学研究科 医薬情報解析・医薬品評価学,昭和薬科大学社会薬学研究室), 村島 温子(国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター), 宮崎 生子(昭和薬科大学大学院薬学研究科 医薬情報解析・医薬品評価学,昭和薬科大学 社会薬学研究室) |

大会長講演

「わが国の標準薬物治療を考える！」
～合同大会を開催するにあたり～

9月4日（土） 9:20 - 9:40

第1会場

座長

赤沢 学

明治薬科大学 公衆衛生・疫学研究室

演者

山藤 満

SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 薬剤部